

第498回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 平成31年2月6日(水) 午前10:30より

2. 開催場所 長野放送本社会議室

3. 委員の出席 ○委員総数 8名
○出席委員数 8名
○出席委員の氏名(敬称略・委員は五十音順)

委員長 林 新一郎

副委員長 渡辺 重久

委員 荻原 健司

委員 春日 十三男

委員 加藤 恵美子

委員 笹本 正治

委員 佐藤 裕一

委員 田中 宏昌

○欠席

なし

○放送事業者側出席者名

外山 衆司 (代表取締役社長)

矢澤 弘 (取締役報道制作担当)

飯塚 憲彦 (取締役編成・業務推進・放送番組審議会担当
業務推進局長)

柳沢 浩之 (編成局長兼放送番組審議会事務局長)

上小牧 忠道 (編成局次長兼編成部長兼視聴者室長)

春原 晴久 (報道制作局長) 番組プロデューサー

4. 議題

(1) 番組審議

『NBSフォーカス∞信州』

山里に咲く絆 ～清内路の手作り花火～』

(平成30年11月23日金曜日午後7:00～7:57放送)

(2) 視聴者対応報告 (平成30年12月～平成31年1月分)

5. 議事概要

(1) 番組審議

- ・清内路に伝わる奉納煙火、その伝統をいかに今に引き継いでいるかを丁寧に多面的に描いた。
- ・時間をかけた取材で、地域の人たちの思いや本音をうまく拾い上げた。
- ・美しい花火の映像に惹きつけられた。
- ・番組のタイトル・サブタイトルが良く、番組冒頭の「導入部分」にぐっと惹きつけられた。
- ・花火を中心とした家族や地域の人々のつながり、絆の大切さをよく描いた。
- ・地域の伝統的な花火ができあがっていく過程を準備の段階から丁寧に取材して、竹の加工、火薬の調合まで映像に納めた。
- ・ドローン映像や地図を使い、地理的な位置関係が視覚的に分かりやすい工夫がされていた。
- ・花火作りに女性が積極的に関わっていることをしっかりと伝えていた。
- ・地域文化をしっかりと守っていくことの重要性を深く考えさせられた。
- ・28年前に作った長野放送の番組の映像を使い、内容に深みが出た。
- ・登場人物が多く、上清内路、下清内路のどちらの話か分かりづらかった。
- ・花火を維持するための財政的な情報が知りたかった。
- ・「奉納」のための花火ということの説明、「櫓」を組む意味の説明が弱かった。

- ・「頭取」という呼び方を含め、花火作りの組織の中にどんな役割があるのか知りたかった。

(2) 視聴者対応報告

資料に基づき平成30年12月から平成31年1月までの視聴者対応について編成局より報告を行った。

以 上